

# 投票理由

被選挙権の年齢を選挙権と同一（満 18 歳以上）にする

賛成：p1-15

反対：p16-22

## 賛成

政治参画への意識を高めるため。被選挙権を引き下げても立候補の義務化とは異なり、また当選落選も別途判断が可能であるため。
少子化で若者の声が政治に届かなく、子どもの権利条約からも意見表明権がいられているため。選挙制度もかえて、お金のかからないように制度設計を変えないといけない。
反対意見はすべて、どんな年齢にも当てはまり、説得力がない。選挙権を与えるなら、同時に被選挙権も与えるべき。
若者の声をより反映させたい。
分けたらややこしい
これからの日本を担う若年層の政治離れを解消するために同世代の主張が直接政治に反映されやすくさせる必要があるため賛成します。むしろ議員の定年制度を導入するべきとも考えます。
選挙権を下げたのだから、参加させて良いと思う。若い人が自分の生きる世界を作る、いい事だと思う。
人生経験は関係無い。今その人がこれが一番望ましいと思う意見を述べるのが議員活動なのだから。供託金が高いのは良くない。
若い人の意見を直接的に政治に入れることが可能となる。小中学における政治教育を充実し、子供の頃から政治に興味を持つようにしてほしい。
これからの国の将来は若い方がやっていくべき
政治が若い人にも身近になることが期待できる
年齢に関係なく能力のある人はいる。
投票権が18からあるので立候補も同じ年齢しなければ若者の政治参加はできない
若い人が政界に出るべきです。
今の選挙制度がベストと思えないため、いろいろ試してみても良いと思う。
社会経験がないことを理由に反対する意見もありますが、社会に出て腐り切ってしまった私利私欲、利己主義な人間より絶対に良いと思います。（供託金が高すぎるので一万円にするとかが必須。）若い方は未来があるので、「今だけ金だけ自分だけ」にはならず、未来を考えた誠実な政策を考えてくれる可能性が高いと思います。18歳以上に被選挙権を与えることに賛成します。
現行の規定には明確な理由（誰もが納得できる理由）がない。また、18歳以上にしようがしまいが、能力のない人間・金持ちが立候補する状況に変わりはない
若者の政治に対しての無関心を是正できる可能性がある。
若者に選挙の興味を持ってもらうことと、声が届きやすくなるのはいいと思う。今の政治に新しい風をふかせてほしい

できるだけ広範な人々で議会を構成すべきと思う。
反対派意見は、全然理由になっていないと感じる。問題があるならそれがクリアできるような制度でも法律でも教育でも改革すべき。有権者と数えられていながら、立候補する権利すら認められていないというのが問題で、立候補するかしないか、当選するかしないかは問題ではない。同じ人間として「一定の社会経験」とか言われたくない。年齢で決めつけるのはいかがなものか。権利のない小、中学生、高校生でも自分たちの生活や将来に希望や不安をそれぞれ持って、必死に自分の頭で考えて生きている子供たちがたくさんいる。むしろ私は、一定の人生経験がありながら、そういう子供たちのために政治を何一つ変えていくことができない自分自身が恥ずかしい。
若すぎるとか言う人がいるけど人は年齢じゃない。どう生きてきてどう生きていくか。精神的に幼い人間はいくら歳を重ねたところで愚かしいことをする。若くても素晴らしい考えの人間もいる。75過ぎて自分が何を言っているのか理解できないボケ倒した老議員より、18でもしっかりした考えの人間に政治は任せるべき。人類の歴史上、若くして即位した賢王がいるように。ビジョンのある若人が年齢という理由だけによって権利を与えられないことは勿体無い。
年寄りでも無能で有害な人間が多数いる(世襲議員など)若くても優秀で経験豊富な人もいるから。
反対意見に一定の人生経験が必要とあるが、今の国会議員に豊富な人生経験があるとは思えない 2世議員とかは、親が国会議員だからというだけで当選し、親の力だけでやってきた人ばかりしか居ない若い新しい考え持つ者を嫌がる節が今の国会議員にはある 議席を失えば、今まで隠してやってきた事が白日のもとに晒されるからだ それなら18歳で国政に乗り込んで引っ掻き回すのは問題ない いずれにせよ同じだから
大賛成！高校生や大学生の国会議員や地方議員がいても何ら問題なし。
年齢を別にする理由がない
もっと若者に政治に興味を持ってもらえ、自分達の未来をちゃんと考えるきっかけになると思う。今の日本の投票率の低さと現状を考えてたら、未来は暗澹たるものだと思います。
政治家に経験が必要とか、世襲政治家だらけの現状では何の根拠にもならない。参政権という政治参加の資格があるのであれば、当然に立候補資格もある。
投票権があるのに、立候補の権利が無いのはおかしい
若い人にも選挙または政治への関心を喚起することになる。
18歳でも十分に勉強している人もおり、若者の意見を反映することが必要。
選挙権と年齢を合わせることに合理性があるから。政治家の高齢化を防ぐメリットがある。
全くナンセンス。仕事のできない公務員が考えそうなこと。
18歳は成人であり、選挙権と被選挙権があるのが当然。国民として政治に参加するべきだと思います。
若い人に積極的に参加してもらおう機会は最大限に上げるべきだと思う

<p>選挙権が18歳以上と定められているのに対して、被選挙権がそれと異なるのは、明らかに整合性に欠けます。若い世代でも政治に関心を持ち、積極的に自分の意見を発信している方々も少なからずいます。若い世代の政治参加を促進することは、日本のあり方を長期的に考えるという立場からも必要だと考えます。</p>
<p>当然の事でしょう。糞ジジイばかりでうんざりする</p>
<p>賛成であるが、反対の中にあるような、細かい議論をもっとすべきだ。</p>
<p>選挙権を得ると一時的に選挙への関心が高まり年長者が気づかない事を主張してくれると考えて良い。ただ供託金の問題も解決しないと厳しい。</p>
<p>立候補は権利として同一でいいと思います。年齢を重ねて成長する部分もあれば、年を重ねても情けない大人はたくさんいるので、立候補したい若者の声を聴き、あとは投票する側の見る目が問われる、ということだと思います。</p>
<p>反対意見にある問題はいずれも修正可能であり、選挙権と被選挙権を同じにすることの重要性を否定するに当たらない。</p>
<p>若者達にもっと政治に関心を持ってもらう教育が必要</p>
<p>条件付き賛成です。供託金を含めた立候補者に関する制度の改正(反対意見の理由に挙げられていた問題点についての改正)と同時に行われるべきだと考えています。</p>
<p>政治教育の科目を増やす、供託金の大幅減を前提にして賛成</p>
<p>じじい多過ぎ</p>
<p>人生経験が不足しているように思うが、今の議員たちを見ていると、生活実感のない2世や3世の議員が多く、私たちの生活とはかけ離れている。むしろ、若くて内もわからないほうが、新しい取り組みや見方ができるのでましかもしれない。早くから政治に入って、しっかりとやってくれば年齢に関係なく、新しい風を入れることはいいと思う。合わせて、国民全体への主権者教育には、国全体で取り組んでほしい。</p>
<p>中高での主権者教育が発展すると思うから。</p>
<p>若くても政治家に向いている人はいます。</p>
<p>当然過ぎるほど当然</p>
<p>被選挙権年齢を選挙権年齢と同一にすることは当然である。</p>
<p>18歳の一議員が社会を不安定化させるようなリスクがあるとは思えない。18歳と25歳にそんなに違いがあるようにも思えない。18歳で立候補できる人は稀でしょうが、若者の関心を集めるでしょうし、面白そうではないですか。25歳と30歳？根拠が全くわかりません。</p>
<p>若い世代の意見を広く汲み取る為</p>

義務教育・高等教育の過程で政治の教育をもっとするべき。自分の未来は自分達で変えられる主権者であることを。そうすれば年齢を引き下げても問題ないと思う。
若い人の政治参加は絶対に必要。18歳で選挙権を得るので、民主主義を守るため選挙権の行使が如何に重要であるか、中高できっちり教える事も必要。
若者も政治に参加できるようにすべきであると思う
柔軟性ある意見は大切だと思うから
もっと若い世代の方々の政治参加を促進させるため。供託金制度の見直しもセットでおねがいしたいものです。
教育次第で18歳でも被選挙権があっても機能すると考える。合わせて某党が推奨する、選挙権を16歳にすることを議論も取り上げていただきたい。
政治に参加することを小中高でしっかり教育した上で、選挙権、被選挙権ともに認めるべき。
選挙権と被選挙権の資格はそろえるべきである。但し、周囲の理解や供託金の問題など、環境整備は必要。
選挙権があるなら被選挙権があっても良い
他の年代よりも経験値が低くとも、必ずしも問題意識、課題解決能力、リーダーシップが他の年代よりも劣るとは限らない。制度として被選挙権への門戸を閉ざす正当性は本質的にはなく、社会の一構成員として若年の意見を政治に反映することが肝要である。
中学生、高校生でもしっかりした意見を持っている方はいます。除外するのではなく参加してもらうことで若い方々の意見も反映するべきと考えます。若い方の政治への興味の広がりや投票率のアップにも繋がるのでは？
選挙権も、被選挙権も、同一年齢にすることは賛成だが、今の、18歳成人年齢(投票年齢)には反対である。18歳なんて人間的には非常に未熟である。(自分を鑑みても。)25歳、もしくは30歳以上でも良いか、と思っている。
選ぶ権利と選ばれる権利は同じで良いのでは？立候補したとしても有権者に支持される訴えがなければ当選はできない訳で、人生経験の少ない者が政治的権力の一翼を担う事にはならない。有権者の論理的で合理的な判断力が問われる事であり、出馬する方の問題では無いのでは？
原状、政治に若者の意見が反映される事が難しいので、若者の意見を取り入れるべきだと思うから。若者の方が、変なシガラミもなく家族の生活のしほりもなく、純粋な情熱をもってフットワークも軽く柔軟な思考で、政治に取り組んでくれそうなので。若者にとって、政治が身近に感じられそうだから。但し、条件があって、立候補するについて憲法や公職選挙法や国会法や行政法など、最低限の基礎知識の講義を受けてレポート等を出すことを義務付けて、それらをクリアしてから立候補できるようにしてほしいと思います。(22歳くらいまで)その代わりに、供託金は減額するなどの措置も講ずるべ

<p>きだと思います。原状の高校教育の知識での立候補には無理があり、金銭的な負担も大きく、親の影が見える二世の候補者ばかりになりそうなので、普通の高校生が立候補できるような仕組みを作るべきだと思います。</p>
<p>現状よりは若者の政治参加を促進すると考える。</p>
<p>当然の権利だと思う。</p>
<p>いろんな人に選挙に行って欲しい</p>
<p>若い人の活躍を望む</p>
<p>受験資格試験をすれば、優秀な18歳。ボケ始めた80代を選別できる。自民党は比例は年齢制限を求めたはずが82歳の山東あきこがまた出る不思議</p>
<p>若者を政治に参加してもらうために被選挙権を与える方が良い。但しそのためには選挙に出るための供託金が高すぎるので大幅な見直しが必要でふ。</p>
<p>若者にも選挙権があるのだから、被選挙権を与えるのは当然だと思う。若者の意見を政治に反映するのは当然。投票率を上げる効果が期待できる。</p>
<p>投票権だけ与えて、立候補できないのはおかしいに尽きる。あえて言わせてもらうと、学校でなぜ政治集団（国会で政党と登録し活動している集団）を教育してはいけないのか?? 思想に偏見を与えるというが、これが偏見と思う</p>
<p>5の項目も似た回答（手間暇による品質）、いろいろなノウハウを若い頃得られる場にはなる。抜け道は監視を徹底。（グレタさんは大金を得てるようだ。）</p>
<p>立候補者が全員18歳になるわけではないので、幅広く市民の声をすくい上げるためにも被選挙年齢は下げるべきだと考える。ここでも資金力の話がでていますが、いよいよ選挙や政治に掛かる費用について、公平性の観点からも市民が自ら考える時が来ていると強く感じる。</p>
<p>昔から、生徒会長選挙は、選挙権、被選挙権は</p>
<p>政治家には年齢や経験は必要ないと思う。今の政治家を見て、ろくな人がいない！</p>
<p>世界の趨勢</p>
<p>政治に興味を持つきっかけを拡げられる</p>
<p>選ぶのが18才からなら選ばれるのも18才からでしょう。</p>
<p>若者の意見も必要</p>
<p>賛成だが高校を卒業したばかりでどこまで出来るか不安</p>
<p>成人と認めたのなら当然の措置だと思うから。若者の正義感やエネルギーはもろ刃の剣だと思うが、未熟さゆへの有意なものがあります。ただ、政党に利用されるのだけは避けたい。世代の代弁者や弱者の代弁者になったり、自由な活動をさせてやりたい。</p>
<p>若い人にも熱意と能力のある人がいると思うから。</p>

基本自分で考えたのであれば、年齢は関係ないです。勧誘、洗脳はそれ自体が犯罪なので、選挙とは別と思うから。
制度上そうしなければならないと思う。
下手に経験を増やして、蓄財や詐欺手法のみ学んだ議員よりも、純真で混乱をもたらす若い議員の方が、今は必要な気がする。
参政権と非参政権は同一の年齢とするのが、人権だ。
若い意見を取り入れたい
18歳が成人年齢である以上被選挙権を持つことがあってよいと思います。
当然かと思えます。若者の経験不足を言うなら老人の老害も同じ可能性では？候補者次第化と思えます。
社会に縛られない立場の政治家が増えて欲しいから。
お年寄りの議員が多すぎる。これからの未来を創っていく若者が参画し方がよいと思う！
現在の日本の選挙制度を欧米並みに変更し若者の政治参加を大幅に喚起する
年齢で、被選挙権を、25歳、30歳にする合理性が、認められない。
若い人たちこそ政治に関わってほしい。そういう日本に変わるべき時だと思えます。十代で世界を変えようと活動始める子どもたちが世界各地にいる以上、私たちに大きな影響を与えてくれると期待します。
選挙権の年齢と被選挙権の年齢が異なることの納得できる理由がない。そもそも、選挙権の年齢を満18歳に下げることの納得できる理由がなかった。政治活動についての学校教育の充実が、自由化が、最も大事。
老害ばかりが目立つ今の政権与党。若者の投票を促す意味でも欧米並みにしたい。
従来は経験不足な若者が議員となることを防ぐ趣旨の法に合理性があると考えていたが、多選を重ねた議員、世襲を続けた議員の質の低さには目に余るものがある。多選、世襲を排除せずに年齢による差別のみを温存することに合理性はないから。
政治について考える機会を義務教育に取り入れた上で、被選挙権を選挙権と同じにしたらよい。
現行の年齢制限に何か合理的な理由があるとは思えない。やはり選挙は投票する側であれ、投票される側であれ、基本は自由であるべきである。志ある者が自由に立候補できるようにすべきである。ただ、自由である以上は、個々人の見識が問われることにはなるが。先の兵庫県知事選のようなことにならないためにも。
間口が広がるため

<p>被選挙権を18歳以上にすると共に、政治について学校での自由闊達な生徒同士の議論の場を設ける必要はあるとおもいます。年齢だけの問題ではないとおもっています。高い供託金も下げるべきだとも思います。</p>
<p>選挙権と被選挙権の年齢に開きがあることに、合理的な理由があるとは思えない。</p>
<p>居眠り議員を見れば歳を重ねていればとか関係ないと思う 加えて供託金等の制度も見直していくべき</p>
<p>民主主義は不適格な候補を選挙によって選別できることが黄金律であったはず。若い候補者を政治家として不適格だと思うなら、その候補に投票しなければいいだけである。よって、民主主義という観点に立ちかえた際に被選挙権の剥奪には合理的な理由が存在していないと考える。また、供託金の話は政治参加の年齢とは全くの別問題である。議員になる人物の貧富の差は論点のすり替えに過ぎないのではないだろうか。実際、現行の制度でも政治家になれる人物は俗にいうエリートばかりであり、そのほとんどが富裕層である。それを理由に被選挙権を制限することはできない。最後に、若年層が政治的にも人生経験的にも経験不足だと指摘するのであれば、それは政治に主体的に参加できないからである。つまり、現行制度は学生を政治から排除する方向性であるために学生の政治活動を認める声も下火なのだ。もし、被選挙権が下がってしまえば、それに付属した分野の改革をせざるを得ないところにまで追い詰めることが出来る。環境が整っていないから被選挙権を認めないのではなく、被選挙権を認めて環境を変えていく方が日本の遅すぎる改革文化にはあっている。</p>
<p>人権は年齢により差別されない</p>
<p>年齢による義務と権利はできる限り同じにすべき</p>
<p>今の政治家は経験があっても全く国民生活に活かされていない 年齢ではなくどれだけ考える力があるかが大切。投票する側もきちんと見る力が更に必要になると思うが。</p>
<p>基本賛成だが、同時に若くても立候補しやすいようにお金の面などの立候補障壁も下げる変革も必要。</p>
<p>現状の被選挙権者は、中年や老人の候補者ばかりで、目新しい発想や未来に向けた取り組みに欠けるから。</p>
<p>将来を担う世代にとってはとてもシビアな問題であり、投票できないがために未来の可能性や情勢を左右されるのは不平等である。</p>
<p>年齢に関係なく政治に対する意識が高い方は選挙に立候補する権利はあると思います。成人を18歳と定めるならば被選挙権も18歳で良いと思います。供託金は絶対減額すべきですね</p>
<p>25歳未満が投票はできるのに立候補はできないことは、若者が完全な参政権を得ているとは言えない。特に気候変動や教育など、今を生きる若者の問題が重視されるには、議会に若者当事者がいることは大切だと思っています。今の議員が若かったころとは違うことも多い。</p>

<p>最高裁判所が「立候補の自由は、選挙権の自由な行使と表裏の関係にあり、自由かつ公正な選挙を維持するうえで極めて重要」であるとして、被選挙権（立候補の自由）は「憲法 15 条 1 項の趣旨に照らし、基本的人権の一つとして、憲法の保障する重要な権利である」（最大判昭和 43 年 12 月 4 日刑集 22 卷 13 号 1425 頁）と判断しているから。</p>
<p>年齢が高いほど既得権が強くなるので、年齢が低い側に広げた方がよい</p>
<p>国の将来を担う世代が自分事として考え意見を言える方が望ましいと思います。</p>
<p>制度設計をまず行い、その他諸々のことは一つひとつ解決していけば良い。若者の政治離れを食い止め、議論を活性化することが重要だと思う。</p>
<p>若者が選挙についてもっと関心を持ってもらうには学校教育でも教えていくきっかけになる。</p>
<p>「経験が無い者が議員になると社会が不安定化する」や「立候補のハードルが高過ぎる」等の反対意見が有るが鶏が先か卵が先かであり、どちらから進めても良いことであらう。現状が「悪い状態で安定」してあるのではないか。色んな者が議員になれる様、最大限門戸を開いておくべきだと思う。</p>
<p>人生経験が人に良い影響だけを与えるものではない。おじいさんでもトンデモ議員はたくさんいるから、変わらない。それよりも、しっかりと考えられる人材を幼少期から育成する社会にする方が大事。</p>
<p>たとえ理想的な形で選挙が最初は行われなかったとしても、18 歳の候補者が出現することで、今のこの本邦の“お客さま民主主義”みたいな停滞感は、大きく揺らぐはずで、若い世代が自分たちの未来を獲得しようとして盛り上がる、だけでなく、壮年から高齢者まで一人ひとりが、政治を自分事として、改めて考えるようになるのではないかと、期待をします。</p>
<p>現在の資格年齢の根拠が不明。経験、知識、能力、意欲は年齢で測れるものではないため、若者に 18 歳から資格を与えて政治参加の敷居を低くし、そこからさらに学び成長し、若者ならではの発想を発展させて社会を守ってほしい。</p>
<p>歳が問題ではなく、個々の自覚、知識、意識の問題。及び 18 歳にする事でこの日本でも少なからず、学校やその他の関わりの中で政治の話しもするようになる。</p>
<p>より若い世代の意見を吸い上げられるシステムに変更することに意義がある。</p>
<p>選挙権があるのだから被選挙権もあるべき</p>
<p>ついでに、酒・たばこも 18 歳からにした方がいい あれば 20 歳からこれは 18 歳からとかイミフ</p>
<p>実際に立候補する人はいないと思うが被選挙権を認めない合理的な理由がない 選挙権を認めているなら被選挙権も認めるのが妥当と考える 余計なお世話である 立候補へのハードルの高さの問題は別途論議すべき課題として残る</p>
<p>若者が議員になり、新しい風を政治に吹き込み、空気を変えて欲しい。</p>
<p>政治への無関心、無力観を払拭し、学校における主権者教育が活発になることを期待。</p>

<p>私は現在69歳だが、自分の18歳の時のことを考えると、既に、政治に高い興味を示していた。実際、年齢が高くても政治に関心な人もいたのであって、基本的に、年齢によって意識の高低が定まる訳ではないので、成人と認められる年齢であれば誰でも被選挙権をもっても構わないと考える。</p>
<p>先に結論を申し上げますと、被選挙権の年齢を選挙権と同一（満18歳以上）にすることについて賛成いたします。しかし被選挙権行使者は、政策立案・法律制定・政策実現にかかわるものすべてに課される、一定の条件を満たしたものが選挙に立候補できるという制度の確立がぜひとも必要と考えます。たとえば、教育・保育・医療・介護・災害現場等で、必要任務・必要時間就労するというものです。そもそも政治というのは、赤の他人のことを心配し、赤の他人の世話を焼き、赤の他人のために知恵を振り絞ることを言うため、いま挙げた労務はじつに政治家および官僚に必須のものと考えます。しかも以上のことは何も人間の美德を喚起させるためとか、人間讃歌のよろこびを味わうといった、言うなれば人に善行を積んでもらい、社会がより豊かになることをめざす、それもたいへんよろしいのですが、それよりもここで重要なのは、たとえば人間の尊厳をよく学ぶとか、これらの労働がどれほど過酷で厳しいなか行われているかを知るよい機会にしてほしいからです。</p>
<p>若者の声に耳を傾けることは大事なこと、子供の意見を親も聞かず、教師も無視している環境で、自分の意見を持つ若者が立ち現れ、自分たちの未来を積極的に担おうとすることは望ましく、当たり前のことである。未来は彼らのものであり、棺桶に片足を突っ込んだ者の欲にまみれた言説を離れなければ、先はない。</p>
<p>議員年齢も社会同様多様な方がいい。ただ同時に、供託金他、立候補&amp;仕事をしやすくするなど制度周りの整備は必要だと思う。</p>
<p>但し！反対意見にあるように、ある程度社会人を経験してから、主権者教育をちゃんとしてから、出馬にお金がかからないようにしてから。何より、大人が不甲斐なさすぎる。政治に関心がない、主権者教育がなされていない、有権者の半分は選挙に行かない、政治に関する報道がショボすぎ、政府与党に忖度しすぎ、国会で今どういう法律が審議されているかすら報道しない、政局しか報道しない…書きたい事はまだまだあるが、日本人は政治的劣等民族としか言いようがない。選挙年齢云々言う前にまずこの状況から脱却すべき。話はそれからだ。</p>
<p>反対する理由がない</p>
<p>70過ぎた後期高齢者には、現代の若者の話が理解できないから ただ、しっかりと教育はするべき。義務教育で、政治について学ぶことをしっかり盛り込んでほしい</p>
<p>義務教育も受けて、良し悪しの判断も十分できる年齢だから。汚れ切った大人より世の中を健全にする力があり、将来のことも考えるから。</p>
<p>若年層の投票率を高めるため</p>

<p>年齢的には若くても、自分なりの信念と政策があるなら、選挙権と同様被選挙権を与えてもいいと思う。北欧などでは、すでに同一年齢としている事例もある。</p>
<p>しっかりしている 18 歳もいる。逆に 70 歳以上は剥奪すべき。18 歳が選挙で選ばれるとも思わないが、経験として良いと思う。若い頃から選挙について真剣に考える人が増えるきっかけに多少なるかもしれない。</p>
<p>SNS 見ない NHK だけの高齢者多い</p>
<p>政治が高齢者重視になっていることが社会が停滞している大きな要因であり、その対策の一つになるため。なお、これ以外にも、構造的に政策が高齢者重視になっていることについて、様々な対策が必要だと思う。例えば、ネット投票解禁、子供の選挙権（保護者が代理投票）など</p>
<p>選挙権が 18 歳なので非選挙権も 18 歳。</p>
<p>歳をとったら賢くなるわけではない。ずる賢くはなるかもしれないけれど。社会はみんなで作るもの。若者が自分たちの未来作りに参加するのは当然です。</p>
<p>若い世代の意見を反映した方がいいと思うから。</p>
<p>義務と権利</p>
<p>子どもの権利条約に批准し、国内法の整備が要請されていた日本は、20 年遅れでしかも周回遅れの法律だけ立てて、やった体を装った。将来を担う若者に対して、人生と生活、命に関わる政治の代弁者がいない状況は深刻であり、18 歳という選挙権年齢に被選挙権年齢合わせるようにするのは間違った方向性ではない。ただし、反対派が述べているように、選挙制度に対してそれ以前の問題が山積みであり、まずはそちらを解決することが急務である。また、反対派の「経験がないものが政治に参加すると社会が不安定化する」という意見は、そうしている社会や仕組み、制度自体に欠陥があり、それを持って被選挙権の引き下げを阻むことに何らの合理性もない。やる気と国民の意見を代弁する気概がまずあれば、選挙という場に立てる、そういう仕組みづくり、当選した後は、代弁機能をしっかりと担っていけるように柔軟なトレーニングを全ての議員が持てるような社会制度に作り変えていくことこそが重要である。そうでないと、よくわからない経験なるものと、いろんな業界に顔が効く（言いなりになる操り人形）者のみが当選し、現にそうになっており、民主主義の破壊、独裁政治の加速が進行する。18 歳は被選挙権を認めるというのは、そうした状況に楔を打ち込む一つの方法であり、また、意見の多様性の拡大による政治機能の強化、若者の意見の代弁による真に若者、当事者目線の改革、政治運営が進むことが期待される。民主主義国家を謳うなら、利権やしがらみに塗れた現状の政治より、そうしたフラットで柔軟な政治が望まれるべきであり、それが現代国家の示すべき姿なのではないか。いずれ、被選挙権年齢をはじめ現状維持に固執することは、妥当性を欠いている。</p>
<p>賛成に投票しますが、消極的な賛成です。若者の政治参加を促進するという観点から現状を考えると、オンライン投票の導入がはるかに効果が高いと思います。オンライン投票に関しては、本人確認</p>

<p>をどうするか、不正をどう防ぐか等々、課題は一杯あると思いますが、国政選挙の投票率が、50%という現状を何とかしなければならないと思います。</p>
<p>18歳は確かに人生経験は浅いが、選挙権が政治参画権とするならば自ら立候補し世の中を改革する志と方法論を持つ人材には被選挙権は認めても良いと思う。</p>
<p>未来は若い人の意見が必要と思うから</p>
<p>立候補するのに300万円かかるという制度も引き下げるべきです。どちらも並行してやっていって は？</p>
<p>若い人たちに政治に関心を持ってもらえるのではないかと</p>
<p>若い世代にも今の政治を憂う優秀な人材がきっと隠れていると信じたい。それと同時に議員65歳定年も施行して頂きたい。</p>
<p>これを機に、若者の政治教育をきちんと始めたらよい</p>
<p>選挙権があるということは候補者を見極めることが出来ると想定されていなければならないので、そうであるならば被選挙権もなければ権利としては非対称過ぎるように思う。ただし、それだけでは金持ちしか立候補できないという反対派の批判は理解できる。したがって被選挙権の拡大は、多様な人材が選挙にでやすくするための一つと考える。その意味で賛成する。</p>
<p>まず市町村区議選から始めるとか市町村の首長選挙から始め、どのような不具合が出てくるか試せばよい。</p>
<p>日本は、学校で政治はタブー視されており、以前森前首相が有権者は寝ていてくれればよいと発言して、避難を浴びたが、文部科学省が、政府に文句をいわない日本人教育指針を取っていることにあらがう上で、被選挙権を引き下げることは、有効と思われる。</p>
<p>とにかく、若い人にもエイジに関わってもらいたい。</p>
<p>満18歳でも政治に対して関心を持っている若者も多く、選挙権を与えても何ら問題ないと考えます。</p>
<p>年齢で能力は測れないのもっと若くても構わないと思う。</p>
<p>学校での教育も変化せざるを得ないのではないかと期待</p>
<p>今の時代、18歳でも十分成熟した若者に期待できると思う。</p>
<p>政治家に相応しいかは、年齢ではなくて選挙で選ぶべきだから。25歳や30歳以下は納税をしても政治家になれないことや、年齢で思慮分別などを測っているのは若者差別だと思う</p>
<p>条件付きで賛成です。反対意見にもあるように供託金の負担が足かせになる。供託金廃止とセットなら賛成です。</p>
<p>高齢男性による政治の弊害は、日本においてあからさまであり、若い世代が政治に参画し、変えていく必要性は痛感していること。若い世代と女性の政治参加が日本を救う道です。</p>

<p>若者がもっと政治に興味を持つようになり、自分たちの未来を真剣に考えるのでは無いかと希望を持って。</p>
<p>若者の未来のためには若い政治家が必要だ</p>
<p>被選挙権にせよ選挙権にせよ、年齢に関係なく国民の権利とすれば良い。今の国会の惨状を子供達に見てもらって感想を聞きたい。傲慢な大人より彼らの方が真面目に政治をしてくれそうに思う。</p>
<p>定年制を設けるべき。</p>
<p>いまの政治家は無能ばかり、若い人にもどんどんやってもらうべき</p>
<p>無駄に年齢だけくった議員さんより 18 歳でもしっかりした若人はたくさんいると思います。また被選挙権を下げることで、若人の政治の関心を持たせることもよいと思います。反対意見で 18 歳だと世の中を知らないからとの意見もありますが、教育も変えていけばいいのではないのでしょうか？失われた 30 年などいわれていますが、その 30 年前から何一つ変えられない（教育一つとっても）この現状がいけない。ここで変えていかないとと思います。</p>
<p>選挙権と同じにする。違える理由が理解しかねる。</p>
<p>若者が被選挙権を持つことによっても若者の政治への関心が高まる。自分たちに関わる事を自分たちが参加することによって決められることは大切。戦争に至る時は老人が決めた法律により前線に立ち命を落とすのは若者である。若者よ頑張れ、自分たちの長い未来を切り拓けと応援したい。人生経験長いと言われる中高年でも今の政治家の人格、行いを見ればたかが知れている。何も考えず議員の座に胡座をかいているものより、未来を生きる若者が長期的スパンで物事を決めるほうが大切！</p>
<p>少しずつ政治に関心を持つ人が増えてきた</p>
<p>主権者教育の不備などの問題と年齢の問題は別の問題でありそれらはそれらで解決すべきでことであり、被選挙権と選挙権の年齢を同一にしない理由が見当たらないから。</p>
<p>若い人なりに社会を変えたい思いがあってもいい</p>
<p>社会経験の無い人が政治家になってもよいと思う。むしろ、何も知らないところで新しい視点や感覚が政治に取り入れられることはプラスになる。未熟という批判に対しては、先輩が支えればよい。国民一人一人は多種多様で、何かと至らない人もいるので、その代表として政治家になる人も多種多様な方が民意を反映しやすい。</p>
<p>人間は、年齢重ねさえすれば成熟するわけではない。若くとも、思慮深く探究心に富んだ人材は少なくない。議員になってから並行して見識も深めてもらえる。お爺さんだらけの臭い政治はもう要らない。18 歳から成人扱いしておいて、被選挙権ないのは大人側の屁理屈。同時に金のかからない選挙システムの導入も並行すべき。また公設秘書の大幅増員と報酬や経費の公費負担は当然。</p>
<p>反対意見の内容を改善した上で変えるなら賛成。例えば「何年に実施するのでそれまでに政治教育を学校でも外部のハイレベルな人を招いてしっかりやる」とか、上のほうの役所で見識をもった人が具</p>

<p>体的な仕様を決めると、役人や教員は自分で考えて改善するのはなかなかできない構造だけれど、上が決めたことなら形だけでも全員が一応は動くので、いいのではないのでしょうか。</p>
<p>子ども権利条約にもあるように子どもの意見表明権に基づき、政治に意見を言える機会や権利を与える事で、政治に関心を持つことに繋がると思うから。</p>
<p>被選挙権の年齢制限を設けている正当な意味付けがわからない。下限があるなら、上限も設けるべき。</p>
<p>若者の政治に対する関心が高まり、若者の意思を政治に反映できる機会の拡大につながるので、賛成です。</p>
<p>職場でも、学校でも政治の話がタブー視される傾向にある。海外では、活発な対話がされているようです。被選挙権も持つことで、若い人たちがより政治に関心を寄せ、その考えが政策に影響を与え、現在社会が変化していくと思います。例えば、気候問題、各地の紛争問題、難民問題等々。</p>
<p>正直、今のままでも18歳以上でもどちらでも良いと思っているので、変えたい人が多いなら変えたら良いという考え。主権者教育を充実させることも同時に進めた方が良いと思う。</p>
<p>当然の権利だと思います。欧米諸国で過去に行われた議論を参考にしたら良いと思います。</p>
<p>身近な年齢の人が候補者になれば若者が徐々に本気で社会問題に意識がむくと思います</p>
<p>選挙権と被選挙権が違う年齢なのは疑問です。これからの未来を担う若者の意見を反映することや、政治への参加を促すためにも賛成します。</p>
<p>18歳で多額の選挙資金を準備できるのはごく限られた人になるだろうが、他国の多くでも主流となっているのであれば賛成。</p>
<p>19歳以上であっても、マトモに勉強もしない幼稚な「大人」はたくさんいるし、ただ年齢を重ねただけでは被選挙権を有する基準とはならない。</p>
<p>当たり前の話。課題は、多い。進めなければ解決できない。若者の言葉も必要。</p>
<p>将来的には、選ぶ権利と選ばれる権利両方を、若者にも持ってほしいと思う。様々な課題があり、今すぐには実施できないと思うが、いずれはそうなってほしい。</p>
<p>少子高齢化が改善されなければ、国民の意見がバランスよく選挙や政治には反映されません。従って、若い人たちの政治参加がなければ、より若い世代は、高齢者の意見が反映された政治を受け入れるだけになってしまい、若者の意見が反映されないと考えられます。</p>
<p>賛成といっても条件付きです。その条件は年齢や立場などに関係なく政治に関わることをなんのためらいもなく自由に話したり議論できる状況や状態を作ること。そして公私関係なく、政治の話をするなどの圧力をかけてきた時にそれを許さない状態や状況を作ることです。そしてその議論をする時は期限を区切らずお互いが納得できるまで徹底的に議論をするということです。</p>

選挙権と被選挙権の年齢を敢えて異ならせる必然性は、現代において乏しい。若者の政治参加を促進することが、むしろ現在の人口構成において重要である。

## 反対

周りの 18 歳を見渡す限り国会議員に相応しい人物は見当たりません。
選挙権と被選挙権を同じ年齢としたところで 600 万円の供託金を用意できる 18 歳の人がいるとは考えにくい。供託金の廃止の是非を先に考えるべきである。
現在の中学・高校での政治に関する教育の不足や選挙への無関心さを考えると、被選挙権を与えることには疑問。
満 18 歳以上だと社会経験がほとんどないためある程度経験を積んだ年齢 25 歳から 30 歳くらいでよいと思います。
学びの途中経過で、政治を担うのは危険。年を重ねれば良いというわけではないが、人権の保護、経済的な面も含めて、18 歳では早すぎる。
政治に関わる方法は多様。社会経験を積んだ上で、政治の世界に身を置いて活動するか否かを決めた方がよいと思う。
代表者として活動するには最低限ある程度の視野の広さと経験は必要 日本では基本的に 18 歳は学生であることが多く、稀に能力のある人がいたとしてもその割合は非常に低いと思う 現状ですら明らかにその資質のない立候補者が多く選挙制度自体が危うく見えることが増えてきている 子供が政治を知ること、情報を得る能力を育てることが先だと思う
供託金など高すぎるので。それを引き下げてもっといろいろな人たちが立候補しやすくなってから。
反対意見の様に、人生経験の少ない上、政治家の職務を遂行するに当たって、先輩政治家（強い影響力のある幹部政治家等）に操られる可能性もないとは言えない。実際問題、日本の教育機関では政治に関する授業や、報道に対する一般知識も含めまだまだ現実味が帯びていない。これらの事から反対意見に同意します。
社会人としてある程度の経験を積んだ方への判断をしたい！
年齢を重ねた者として、大勢の意見（悪意）に押し流され、大事な判断を誤ったりする事はままある。 「ここは絶対に退いてはならない」という常識のライン（態勢）というものは、年齢を重ねる事で確立してゆくものであり、政治家としてデビューするに、18 歳という年齢（経験）はあまりに足りていない感じる。タレント候補や宗教トップが政治家として擁立（利用）された場合、若さもある意味「歪な武器」と化すだろう。政策・実力以外に歓心が向けられるのは好ましくない。
最初は賛成も考えたが、被選挙権は衆参共に、満 20 歳からでも遅くはない気がする。
立候補のハードルが高く裕福な家庭に限られることは、むしろ偏った候補者輩出に繋がる可能性もあり、他の課題をそのままに実現しては良い結果にはならないと考える
反対側のおっしゃる通り。
18 歳はまだ未熟です。25 歳が適当だと思います。

選挙権自体を 18 歳に引き下げた理由が分かりません。
一部には被選挙権年齢の人より博識な人がいる一方大半の 18 歳は社会経験が乏しく多くの人が学生という実態を考えた時に思想暴走するリスクの方が大きいと感じたから
被選挙権と選挙権は同一であるべきだが、あまりにも制度不備が多い本邦で、現時点での導入には反対します。
選挙権も二十歳に戻すべき。人生経験が無さすぎる。極端な意見に扇動されやすい時期。
反対の意見に賛同している。
政治に関する教育の遅れ 金銭面でのハードルの高さ 18 歳の親御さんの年齢であっても政治感覚が一般的に幼いと考える
金のかかる選挙制度を改めないかぎり、二世か裕福な家の人しか選挙に出られない。
18 歳は早すぎる
18 歳では、未だ考え方が成熟していないと思う。
選挙は 20 歳からでいいと思う。15 歳以上の所得税納付者には選挙権を与える方法もあると思う。
自身の過去を振り返ると心許なく思います。勿論そうでない 18 歳の方もいると思いますが、一定期間の社会生活を経て細かいことにも目が届くようになってからでも良いのではないのでしょうか。
投票権は 18 歳からでも良いが、社会へ出てからの自己形成を経て国民代表者となってほしい
若いうちに立候補するのは世襲議員ばかりになりそう
社会の経験なしに議員にでもなっちゃったら、安倍晋三みたいな・白痴気狂い議員だらけになっちゃう。
政治の知識も何もないタレントを当選させてしまうミーハーな人間が多い中、まだ人生の経験もない人間が立候補なんて考えられませんかし、選挙権も 20 歳に戻すべきです。
判断力が必要
今の学校では選挙の大切さや、社会の仕組みがきちんと勉強されておらず、海外の選挙のように熱心でもない。まず、経済、社会制度がいかに重要であるかを学生の頃にしっかり学んでから挑んでほしいと思います。でないと、フェイクメディアに踊らされ、ノリで投票されたら日本は衰退の一途を辿ってしまいます
18 歳国民の多くが学費ローンの奨学金の返済に苦しみ過酷な労働を続けている中、選挙運動費用な供託金を支払えるほどの富裕な 18 歳は、親や親族などが富裕な者に限定される。富裕な者だけが被選挙権を獲得する悪しき傾向をさらに悪化させる結果となり、それは自由な選挙でも平等な選挙でもない不平等で経済差別を生む選挙であるから、反対する。

正直なところ 18 歳という年齢に不安を感じます。何故なら今の学校教育では政治をタブーとしていて正確な情報を与えられておりません。何が本当か情報が氾濫していて大人でも混乱します。他国の若者のように政治を語れる環境を作ってください。
18 歳はさすがに若すぎると思う。多少なりとも働く、あるいは組織での活動をした上で政治を志した者が立候補した方がいいと思う
若すぎ
今の若者は人生に真剣さが不足しているので選挙選択行動に疑問がある。
社会経験の無い若造が立候補しても政策や視野が狭いと思うので反対。選挙制度は大日本帝国憲法下の制度に戻すべきであるがそもそも今の日本国憲法は GHQ に脅されて出来たものである所以で違憲であり、国際法違反
流石に若すぎるような気がします
18 歳以上とすることについては反対です。年齢だけ引き下げても意味がない。若者の意見も大切ではあるがもう少し人生経験が必要ではないかと思えます私は反対意見に賛成いたします。
国会議員になるには年齢ではないが、社会経験がない 18 歳では不可能ではないが難しい。
人生の経験値不足
今の日本の教育制度や社会の有り様の中では、この年齢では政治や社会への考えがまだ未熟で、若さゆえに一途に思い込むところがあるので危険性も感じるから。
現在、世界的に(俯瞰して)捉えると、成人年齢が 18 歳であるのは、普通の事のように見えるかも知れないが、これは大きな意味で、間違いである。人口減少の先進国でも、認められるようになったからか、一部の権力者の意向により、進められたようにも見えるこの考えは、より複雑になった人間社会を、間違った方向へ誘わないとも限らない。私は、個人的には、現状を見ると、成人年齢は、22 歳以上。選挙権は、24 歳が適当であると考え。もしどうしても 18 歳にしたいなら、18 歳から 24 歳までは、0.5 ポイントにすべきである。また、75 歳以上も、0.5 ポイントにすべきだろう。微笑。
国民の代表たる議員や知事・市長には、一定の社会経験等が、必要だからです。当選後のインタビューで、『これから勉強します』等と、言っていますが、国会は勉強の場ではないので、必要限度の知識や経験は、議員になる前に身に付けるべきです。その知識や経験を身につけるには、それ相当の期間がかかりますので、25 歳～30 歳くらいで良いのではないのでしょうか。
「反対の主張」の 1 と 4 に賛成するから
18 歳というのはやはりまだ若すぎる。もちろん、若い人達の意見を聞くことは大切なので被選挙権以外の部分で彼らが自分達の考えを公表できる場を設ける必要はある。
ただし、現行の被選挙権の年齢はもう少し引き下げるべきである。
18 歳では余りにも社会経験が未熟に思います。投票の経験を経ることも大事だと思います。

人を選ぶのと選ばれるのでは責任の重さが違う
まだ、判断、実行するには若すぎるため国の方向を定めるのに適さない。できれば、満20歳にするべき。
18歳だと高校での選挙活動が悩ましい。せめて被選挙権を20歳に下げてもいいか。
供託金をもっと安くする方が先だと思う。
まずは立候補するときの300万円という供託金の廃止からです。
世襲が増えるか、大空幸星のような腐ったやつや今井るるのようなクズ政治屋を増やすだけだ。
基本的には、18歳以上になれば良いと思うが、現在の時点では難しいと考える。選挙に対する教育や制度に対する改善がまず必要である。
消極的反対 義務教育終了後社会人になる人もいるので、社会経験が問題なら、社会人経験者の18歳は問題が無いと思うが、現在の18歳であっても保護措置があるような制度で、三権の一部を担う事は適当ではないと考える。
日本では主権者教育、市民教育がされていないので、反対します。フランスでは、政治行政学を専門として学んでいる大学生が村長に選任された例があり、素晴らしいと思いましたが、日本ではそのような人材がとても少ないと思いますかが時期尚早と思いました。
選挙権と被選挙権の年齢を議論すること自体が、現状から乖離していると思う。社会問題や政治に関する教育がほぼ欠落している日本で、選挙権や被選挙権の年齢を議論することに意味があるとは思えない。
18歳では、経験がなさすぎる。せめて大学卒22歳からでよいかと思います。
まだ早過ぎる。もう少し社会経験を積んでから。
今の学校教育の下での学生政治家は不安です。しっかりした若い子がいるのは確かですがちゃんと社会経験をしてからで良い
個人的には選挙権が18歳以上になったことも反対なので。20歳成人でよいと思う。被選挙権を18歳以上にしたら高校3年生に政治家が勤まるのか?被選挙権を与えることより、校内で生徒が自由に政治について発言でき、勉強会を開ける環境を作ることが先決では?私の母校では学園祭で政治をテーマにした研究発表が認められていたが、現在は生徒の学習会も政治活動に抵触すると禁止されている学校が多いと聞く。
SNSによる選挙戦が収集つかなくなり、人生経験が未熟なため投票がゲーム化するおそれ大。
18歳に引き下げる効果、意味が果たしてあるのか。何も理解、関心が薄い若者の投票が良いとは思えない。
一定の人生経験が必要。

<p>将来的には18歳以上にすべきと思うが、現状では各種の障害があるので、現在の意見としては反対する。実現するために、各種の障害を解決することを急いだほうが良いと思う。</p>
<p>教育現場ではほとんど主権者教育が行われていないことを考えるとある程度の社会経験が必要と思う</p>
<p>若者の政治参加という意味では、今複数の自治体で導入されている「若者議会」などの制度を発展させていくことで十分だと思うから。選挙に立候補するには供託金などのハードルが高く、これを下げたしまうと当選する気のない人の立候補が乱立することになりかねないから。</p>
<p>高校生が立候補できることに違和感しかない。多少なりとも、大学や社会人の経験は必要</p>
<p>現在の18歳の大半が高校生であることを考えると立候補は現実的ではないように思った。今の被選挙年齢は引き下げても良いと思うが、22、3歳くらいでは？また供託金など他のハードルも下げるべきだと思う。</p>
<p>人生、社会経験値がなさすぎる→視野が狭い</p>
<p>そもそも選挙権も20歳に戻すべきと考える。18歳では公人となる知識も経験も持っていない。兵庫県知事のようにこの年代をターゲットにした政策ばかりする政治家がもっと現れそう。</p>
<p>主権者の代表には、経験に基づく判断力・責任感が求められている。若ければいいというものではない。他国を見ても被選挙権と選挙権の年齢が違う例は一般的。そんなことより供託金等、今の選挙制度で変える部分は山ほどある。</p>
<p>高額な供託金などから考えると、結果的に世襲議員の量産にしかならないと思うから。</p>
<p>そもそも、選挙権も20歳で良かったと思う。現在の18歳は幼すぎると感じる</p>
<p>汚い大人たちに利用される気がする</p>
<p>選挙権の年齢を下げているのだから、被選挙権の年齢も下げるべきである。但し、18歳である必要はなく、21歳くらいに下げても良いのでは？立候補の供託金を下げるなど、一般人が立候補しやすい制度への変更は必要。世襲議員が多いのは供託金も一つの要因になっていると思われる。一般人には発生する相続税が、政治団体や後援会などが非課税になっていることが大きな要因であり、この点の修正が優先事項である。</p>
<p>飲酒喫煙も含めた完全成人要件に達した年齢とすべきである。日本なら20歳である</p>
<p>裕福な層の18歳でしか、選挙に出られない可能性があるし、早熟な若い芽をつぶしかねないことになる</p>
<p>若者の政治参加には賛成。しかし政治教育されていないおバカばかりになる不安がある 若者には選挙権がない事を悔しがってほしい</p>
<p>被選挙権を18歳以上に引き下げる事は、人としての社会的経験、熟成が不足し知識が乏しい為、十分な政策判断や責任ある行動ができるか疑問視される。理念やビジョンよりも人気や話題性を重視する</p>

<p>と言ったパフォーマンス型の政治が増える可能性が大きい。知識不足のまま立候補させられた場合、政党や団体の「顔（操り人形）」として利用されるだけのケースが懸念されるので反対です。</p>
<p>主権者教育が十分ではない</p>
<p>流石にあまりに経験が短いと何かに於ける選択の結果への想像力が欠けると思います。</p>
<p>日本では高校までの主権者教育が充分とは言えない。</p>
<p>18歳以上というより選挙権は、20歳以上にもどすべきだ。</p>
<p>少し早すぎる。社会人としての経験年数も必要ではないか。</p>
<p>18歳なんてまだ子供で政治の事なんか関心の無い人が多い。20歳を超えたら与えるべきだ。</p>
<p>現在、仕事で十八歳直前の子どもたちと話す機会が多いが、年々子どもたちが幼くなっていると感じる。政治を任せられるほど十分に成長をしているとは考えられないから。</p>
<p>社会経験が未熟</p>
<p>これも勉強不足でよく分からないのですが、立候補できる年齢を下げるよりも先に、近代政治を学習の方が先かなと思います。学生は政治を語るながマナーの国なので、N国とかヘンな人たちに絡めとられてしまいそう。</p>
<p>選挙権と被選挙権年齢は原則として同じでいいと思うのですが、日本では主権者教育に消極的で、そもそも投票権を18才に引き下げるならば事前の環境整備が必要でした。教師に過剰な「政治的中立」を求め、与党議員からのクレームが模擬投票の授業を中止に追い込んだ例、高校生の貴重な発案が教育者(?)である校長から「政治的中立」の名の下に潰された論外な例もありました。日本の若者の政治的関心度が諸外国に比べて決して高くないのは、政治に触れる教育環境が乏しいことが影響していると思われ、そのような状況下でいきなり被選挙権年齢を下げるのは適切とは思えません。10代の投票率がさほど高くない現状を見ると、尚一層の準備期間が必要に思えます。まず取り組むべきは「主権者教育」の必須科目化で、小学1年生から年齢に見合う教育プログラムを様々な形で組み込み、「教育」というよりむしろ楽しみながら“遊び感覚”で身に付けて行く工夫が求められます。「中立」概念が過度に教育や選挙報道にも悪影響を及ぼし、選挙前討論会すら無く、政治への関心を遠ざけています。被選挙権年齢引き下げの前に、様々な改革が必要な状況にあると思います。</p>
<p>18歳にすることには賛成しませんが、現在の制度より若い年齢で被参政権を得られるようにするのは良いと思います。</p>
<p>選ぶのは有権者だけれど、とんでもない人が首長になり得る可能性も考えると(年齢だけの問題ではないと思うけれど)私自身もっと熟慮が必要で、今回は反対といたします。参議院、首長以外を18歳以上にすることには賛成 分けた方がいいかなと思う。私は、(衆議院も、参議院も) #比例代表制だけに が【最優先】と考えています。(衆議院) 小選挙区選挙は廃止 (参議院) 選挙区選挙は廃止 憲法43条① 両議院は、全国民を代表する…にもかなうのでは。 #比例代表制だけに は、一</p>

石十鳥以上 衆議院について考えてみると まず、なくなる(不要になる)こと…… ①1票の格差  
②死に票 ③世襲 ④比例復活 ⑤小選挙区の候補者調整 ⑥略称(投票用紙は政党名の記号式投票(+ $\alpha$ )に。無効票も減る。) ⑦同じ略称による得票案分 ⑧選挙カー ⑨個人のポスター、ビラ(証紙、貼り) ⑩選挙ポスター掲示板 ⑧⑨⑩…などは、選挙公報誌、普段の国会中継(本会議、予算委員会など、だけでなく)に また、党首(代表者)討論を その他 ○多様な議員が誕生する ○権力が分散される(自民党も、立憲民主党も2つ3つに分かれて…) ○供託金は300万円 もっと安く? ○選挙費用も安くなる ○政策を選ぶ選挙になり、有権者が投票しやすくなる(投票率アップ) ○正確に民意が反映される ([4] から追加)